

ぶな

2021年1月号
NO.502



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

《目 次》

「目 次」	1
「巻頭言」	2
【例会山行案内】	
・ 新春山行武奈ヶ岳（1月10日）	3
・ 大文字山（1月23日）	4
・ 八雲ヶ原雪中テント泊（1月30日～31日）	5
【例会山行報告】	
・ 坊村～葛川越～烏谷山～摺鉢山（11月22日）	6
・ 愛宕山（嵐山～保津峡）（11月25日）	8
・ 滋賀40山 余呉 福井県境 上谷山（11月29日）	10
・ 金勝アルプス（鶏冠山～竜王山）（12月6日）	14
【寄稿】	
・ 登山靴の破損	16
【入会自己紹介】	
・ 挨拶文	17
【来期「ぶな」編集作業について】	17
【近況と抱負】	18
・ 1月予定表	24

＝ 表紙の写真 ＝ 白馬岳
2020.10 撮影：H島氏

< 巻頭言 >

2021 年も前向きに！

誇りと自信を持って「会報発行」と「清掃登山」を続けよう

N村T行

新年おめでとうございます。

昨年は散々な1年であったが、今年は普通の年に戻ってほしいものだ。

皆さんに2点紹介したい。

先ず ご承知のとおり 会報ぶなは昨年 11 月号でNo.500 を迎えました！ コロナ過にあっても、皆の工夫と協力・頑張りで毎月欠かさず発行され、今号でNo.502 となり、なんと 41 年 10 ヶ月続いている。これは大いに誇りたい。会員を繋ぐ大動脈の役割を果たしており、今後も途切らすことなく発行してゆこう。且つてのように皆で集まって会報作りが出来る日が早く来ることを願って。

もう一つは、清掃登山(クリーンハイク)についてである。

日本勤労者山岳連盟(労山)の機関誌「登山時報」に“労山創立 60 周年に寄せて”の記事がシリーズで掲載されている。その 20 年 10 月号に、長く労山役員をされた鈴木寛太氏の寄稿が‘清掃登山運動をベースに各地で先駆的な自然保護運動’のタイトルで掲載され、その中で滋賀県連の活動が大きく触れられている。

“70 年代初頭は、登山道や山頂にはゴミが散乱し、山小屋のトイレは汚く異臭を放ち、山は乱開発が目立っていて、各地で乱開発や自然破壊の反対運動が起こり、山岳自然保護の機運が盛り上がった。”との記述の後に

「滋賀県連では 73 年から自然保護運動の一環として比良山の清掃登山に取り組むようになった。この機運を背景にして 74 年、労山に自然保護委員会が設置され、同委員会では、故郷の自然を守る活動の一環として滋賀県連の活動を参考に全国一斉清掃登山を呼びかけ、全国的な清掃登山運動に発展した。滋賀県連は広範な市民に呼び掛けて毎年数百人規模で取り組み、兵庫県連は六甲山からゴミ…」と。

昨年はコロナ過により 9 月にずれ込んだが、当会は第 48 回清掃登山を実施した。この先駆的活動の歴史と伝統に誇りを持ち、清掃登山を未来に繋げていきたい。“ふるさとの山と自然を守り育てよう”“私にも出来る自然保護”のキャッチフレーズを私は気に入っている。そして その一環としての「比良山系の飲み水調査や放射線測定活動」も合わせて。

今年 3~4 月頃にはワクチン投与が始まるようであるが、未だ未だ先行きは不透明である。医療・福祉関係の従事者や体に不安を抱えておられる方等は自粛を余儀なくされていて申し訳ないが、そうでない方は“どうしたら出来るか？”の前向き思考で、しっかり対策をしながら、出来る活動を進めてゆきましょう。

〈例会山行案内〉

新春山行 武奈ヶ岳

毎年恒例の新春山行・武奈ヶ岳を今年も予定通り下記日程で計画しました。
御殿山からの西南稜や武奈ヶ岳山頂からの360度のパノラマを楽しみましょう。

日 程：2021年1月10日(日)

コース：明王院登山口－御殿山－西南稜－武奈ヶ岳(往復コース)

体力★★★★☆☆ 技術★★★★☆☆

集 合：和邇川河川敷 7：00

装 備：雨具、地図、磁石、ヘッドランプ、防寒着等々の通常日帰り装備及び、アイゼン、ストック(スノーバケット付)、ワカン or スノーシュー、手袋薄手、厚手(出来れば替えも…)、帽子(防寒用)等々の日帰り冬山装備

担 当：K嶋

申込先：K嶋

締切日：1月4日(月)



〈例会案内〉

大文字山 (465m)

山科の後山階陵から尾根道をとって山頂へ、山頂からは大文字山の奥座敷のような「幻の滝」へ、道を探りながらゆっくり楽しみたいと思います。ここから火床までのルートファインディングはちょっと難しい。と言っても大文字山なので入門中の入門です。火床から山頂に登り返して日向神宮に下り、地下鉄蹴上駅解散です。時節柄、地図を囲んで喧々ガクガクとはいきませんので、各自方角を確認しながら歩く事を基本にしたいと思います。コンパスを持っておられる方はご持参ください。地図はこちらで用意します。（「幻の滝」には水は流れていません。）

[日 程] 1月23日(土)

[コース] JR山科駅集合8:40＝大文字山山頂11:00－幻の滝－
火床12:30－山頂－思案処－日向神宮－蹴上駅15:00

[申込] H池

[締 切] 1月19日(火)

[レベル] 体力★☆☆☆☆ 技術★★☆☆☆

例会山行案内

八雲ヶ原雪中テント泊

1月30日(土)～31日(日)

比良八雲ヶ原にテントを設営し夜間の星空、早朝の雪原を楽しみます。コロナ感染対策で 蜜を避けるためにソロテントの使用に限らせてもらいます。ご一緒しませんか。

(コース)

1月30日

和邇川河川敷駐車場 8:00＝和邇駅 8:05＝正面谷駐車場 8:30～大山口 9:00～北比良峠～12:00～八雲ヶ原(テント設営) 13:00～コヤマノタケ 15:00～八雲ヶ原 16:30

1月31日

八雲ヶ原 7:00～広谷 8:00～ナガオ～釣瓶岳 10:00～細川越 10:30～北稜～武奈ヶ岳 12:00～八雲ヶ原(テント撤収) 13:30～北比良峠 14:00～大山口 15:30～正面谷駐車場 16:00(解散)

体力★★★★☆☆ 技術★★★★☆☆

(集合) 1月30日(日) 8:00 和邇川河川敷駐車場

8:05 和邇駅でピックアップします。

直行の人は正面谷駐車場(トイレ前)へ

雨天中止(中止の場合、前日に連絡します)

(申込先) H島

(装備等)

テントは各自で用意してください。食事についても各個人で用意します。

(申込期日) 1月25日(月)

〈例会山行報告〉

比良の古道を歩く 坊村～葛川越～烏谷山～摺鉢山

日 時：2020年11月22日(日) 天気：曇り時々晴れ

参加者：CL N尾・SL H島・N田・H浦・S藤・K藤・N野・K林 1班 8名

CL K嶋・SL K原・F野・T中啓・G阿弥・K井・N井・F川 2班 8名

- 7:20 坊村登山口スタート 標高305m
- 7:50 伊藤新道出合。緩やかな林道歩きが程よい準備体操となる。
- 8:10 牛コバを過ぎ奥の深谷に続く道も左に過ぎて白滝谷ルートに進む。葛川越え古道の取り付きは標高460m。リーダーが下見でつけてくれた赤いテープが目印。白滝谷を背に斜面を見上げ直登かと思いきや九十九折の道。これがまあ大小の石がゴロゴロ・ガラガラと崩れやすい。二班のメンバーが真下に見えるなか、足元に最大限の注意を払いつつ進む(厄介に思える石ですが古道の敷石だった?) 標高550mあたりまで緊張が続いたのち進路が変わって右手に白滝谷のトラバース道になる。落石への不安が少し和らぐ。
- 9:00 浅い谷についたところでしばしの休憩。超えてさらにトラバース道を緩やかに登りつつ進むと正面眼下に白石谷、ここから右に白石谷を見つつ登る。
- 9:35 白石谷の上流、標高740mあたり。ここまでのルートには炭焼き窯の跡が数個。かつて人や牛が炭を背負って往来していたとは、なんだかすごい。「道」ってすごい。
- 9:55 クルシ谷四俣、比良主稜線からそう遠くないのに初めて知った場所、標高790m。
- 10:30 歩きやすい場所を探しつつ谷を奥へと進むと正面に大きな岩。標高860m。どちらに回り込んでも行けそうだが左にルートを取って超える。この先はどういってももう葛川越えにいけそうな場所だが、最後は左手に見え隠れする掘割の古道を歩く。
- 10:50 葛川越到着、標高943m。普段は淡々と通り過ぎてしまう峠も今日は違う。記念写真。
- 11:20 烏谷山 標高1077m。この30分の登りがやけに長かった。空腹Max。11:55分まで各々思う場所で昼食。知らなかった比良に出合うことのできた満足感で昼食が美味しい。
- 12:15 食後の重い脚に優しい稜線歩き15分で摺鉢山。ここからはひたすら下って下って・・・まだまだ下って(数年前、尾根の右に進路を取り苦労した経験あり。今は鮮やかなピンクテープ多数、ふふふん・・・とゆとりも) 転倒注意。
- 12:55 奥の深谷コースと合流、九十九折の道をひたすら降りる、長い。最後まで注意!
- 13:30 やっと牛コバ着。予定より一時間早いとのことで、林道途中の三ノ滝散策時間頂く。
- 14:40 葛川市民センターの駐車場に到着。現地解散。

現代版の地図を見ながら、名もない昔人とのつながりを感じることができたのは、それこそが古道の魅力なのか、山のおかげか、としのせいかな? テープがあってもなかなかの難路ですがまた行きたい素敵なコースです。

記録・K林

〈一口感想〉

* 今回も 美しい秋色の山登り！

落ち葉の絨毯 斜面歩き 落石させない様に 緊張の中歩く。

尻餅一つ 頭に枝げんこつ三つ 膝に青たんのお土産付きで・・・

皆様、お騒がせ致しました。有り難う御座いました。 N田

* 古道の葛川越を2年がかりで東西から完歩することができて良かったです。

多数ご参加いただき比良の秋を楽しめた1日でした。 N尾



葛川越にて



《例会報告》

愛宕山
(嵐山～保津峡)

日 時 2020年11月25日(水)曇
参加者 CL K原 SL F野 SL K藤 K林 S井 H浦 I井(記録) O島(体験)
行 程 JR 嵯峨嵐山(8:25)～ 渡月橋 ～ 嵐山公園展望台 ～ 鳥居本 ～
六丁峠 ～ 落合 ～ 清滝 ～ 月輪寺登山口 ～ 昼食 ～ 愛宕山山頂(14:10)
～ 水尾分かれ ～ 荒神峠 ～ 下山地 ～ JR 保津峡(16:25)

京都駅に集合し、JR 嵯峨嵐山駅へ。今日の山行には、O島さんが体験参加。嵯峨嵐山駅を出発して渡月橋まで行き、川沿いに歩いて嵐山公園を登って行く。トロッコ列車の見える展望台にて休憩(11:10)。公園を出て、トロッコ嵐山駅、落柿舎、二尊院と観光巡りのように歩き鳥居本へ。鳥居のところで休憩(9:35)。嵐山付近は花灯路の準備がされていた。

これより舗装路の登り坂に行く。六丁峠までひたすら登る。六丁峠からはつづら折れの長い下り。下り終えたところで清滝への道に入り(10:00)、川の橋を渡ったところ(落合)で休憩(10:05)。ここから川を右に見ながら滑りそうな岩の道を歩く。30分ほど歩いて橋を渡って対岸へ行き、しばらくすると清滝に到着(10:35)。トイレ休憩をはさんで月輪寺登山口へ。この道がまた長い。30分近くかかかってやっと登山口に到着(11:10)。ここまでですでに9km歩いている。これから登れるだろうかと不安がよぎる。休憩後、まずは月輪寺を目指す。いきなりの急登。喘ぎながら登る。しばらく登ったところで体験参加のO島さんの足がつったようなので、菓を飲んだりしながら休憩。それでも頑張っ歩いてくれて、月輪寺(12:25)を越えて、しばらく行ったところで昼食(13:00～13:30)。昼食後40分ほどで山頂に着く(14:10)。

愛宕神社にお参りして、トイレをすまし、表参道を下る。水尾分かれ(14:50)から少し下った分岐で保津峡駅へ向かう道に入る。ここから急な下り。一気に下る。下りきって荒神峠に着く(15:20)。これよりややなだらかな下りとなり、時々石ころに足を取られて滑ったり転んだりしながら、最後の急坂を下って下山地に着く(16:15)。保津峡駅前の橋を渡り駅に着く(16:25)。保津峡駅から電車にて京都駅へ。ここで解散。2名は帰宅し、残り6名で打ち上げの会へ。

(一口感想)

思いの外、お天気は良くなかったけれど観光地巡りが出来て楽しかった。

前日、地図で見た(渡渉転倒注意)に怯えてアルプス仕様の靴、着替えまで用意していましたがそんな危ない所も無く無事、御札も頂きました。

平日で、混雑が避けられたのもありがたかったです。(H浦)

一口感想

「晴れの予報が一日中曇り、嵐山から清滝、月輪寺、そして愛宕神社へと登り保津峡に下山、見どころの多いコースで晩秋のトレッキングを楽しみました。」

(K原)



<例会山行報告>

滋賀 40 山

余呉 福井県境 上谷山 1196.7m

日 程：11月29日(日) 天候：晴れ夕方から曇りのち雨

参加者：CL：NT SL：KK KH HS IS HT HK NY 8名

コース&タイム：和邇川河川敷駐車場 4：30＝余呉町中河内＝6：30 針川集落跡・直行組合流 6：45 出発～727 ブナ林台地 8：00～781.2 点標(石留山)8：40～1041m 9：50～1059m 11：40～ 13：40 上谷山 14：00～(往路を戻る)～1041m 17：00～727 ブナ林台地 19：00～針川 20：50＝9：05 中河内(解散)＝和邇 23 時過ぎ帰着

今回、滋賀山友会のK氏から当会の計画に“一緒させてもらえないか？”との話がありokした。実は、コロナで中止したが4/29に計画した時も、K氏と合同山行の話をしていた。当会は40周年・40山であるが、同様に山友会は50周年記念で‘滋賀50山登頂’を目指していて、残るは当会同様上谷山のみ。何回か計画したが諸事情で未完との事。で、当会パーティーと山友会パーティー(11名)の合同山行とし、お互い協力し合って踏破を目指すこととなった。

和邇から5人が車2台で出発。3人は現地近くで前泊し、直行。

Iさんは東京から遙々前日に滋賀入りし、前泊にての参加で感激であった。

上谷山は未知の山域で、余呉トレイル地図には727mブナ林台地まで破線の登山ルート表示はあるが、それより先は径はなし。

昨年5/4と6/5に下見に出かけたが、1000m辺りからの猛烈なヤブに阻まれ1041mを少し過ぎた辺りでいずれも敗退。6月は葉が生い茂り、5月初めとはヤブの様相が一変して5月到達地点すら届かない有様。無雪期のチャンスは雪解け直後の4月か、葉が落ちた積雪直前の11/末～12/初めしかないと教訓を得る。

針川集落跡に全員揃ったところで出発。目の前の東北東方向に延びている尾根に取付く。初っ端から急登が続く。何ヶ所か倒木(2・3年前の台風によるもの)が進路を塞いでおり、越したり、迂回したり。一歩後に出発した山友会Pは、40代2人を中心とした特に元気な4人組が先発隊を担う。その他メンバーも全員元気で、軽く我々を追い抜いていった。

天気は上々、風もなく暑いくらい。緩やかになると、727mブナ林台地だ。ここより1000m辺りまでずっとブナ林が続き気持ち良い。



ブナ林の尾根を行く



三国岳へ続く県境稜線が美しい

ブナ林が終わると笹と低灌木のヤブとなる。下見で取付けた赤テープと山友会が付けたピンクのテープが頼りだ。I君が先頭を買って出てくれる。

1041m辺りから東方向に深く厳しい藪の中を少し緩やかに下る。笹は頭を隠す高さ。やがて登りに変わり、1059m辺りを過ぎると上谷山に伸びる北方向の尾根に乗る。地面が盛り上がった所では尾根の先に上谷山が望めるようになる。笹は固く密生しており、かき分けて進むしかないが、遅々とした歩み。通った痕跡も残らない。

下山開始を13時としていたが、手強い笹藪に時間はどんどん過ぎ、山頂手前の小ピークで13時となってしまった。上谷山はもうすぐの所だ。進むべきか引き返すべきか悩んだが、14時までには山頂に着いて下山開始出来ると信じ、進むことに決める。天気も良く、下山については、明るい中に深いヤブは突破出来るだろうし、ブナ林に入ればライトで充分歩けると判断した。

最後の上りの頂上手前で 下山してきた山友会メンバーとすれ違い声を掛け合う。

13:40 ようやく上谷山頂上に到達！ 3~4 畳程の広さ(狭さ?)の山頂は、そこだけ笹が無く土が見えている。三角点(2等)をしっかりと目に焼き付ける。

達成感に浸る時間はなく、急いで食料・水分を補給し写真を撮り、14時下山開始。



上谷山の三角点(1196.7m)



上谷山山頂にて 登頂成功！

夕方になると、急に雲行きが怪しくなってきた。下りもヤブに苦労させられ、1041m辺りで17時となってしまう、ヘッドライトを点ける。

猛烈なヤブは抜けたものの、ライトの明かりだけでは、ルート確認も手間取るしペースは落ちる。その内 雨も落ちてきて今度は雨具を着け、尾根をひたすら下る。

19時 727mブナ林台地。全体に疲れが見え、休憩をとる。

ここから急な下り。ガスも出てきて、先が見づらく、ルート取りが難しい。

さすがに疲労が目立つメンバーも出てきて、ペースは大幅にダウン。トップは後続メンバーが離れ過ぎないように、何度も何度も立ち止まり調整してくれている。

20:50 ようやく針川に下山。ブナ林台地から1:50も要した。(上りは1:15) 雨具を脱ぎ、まずは携帯の繋がる中河内まで移動し、ここで各自、下山連絡を入れる。

14時間余も要したが、全員揃って登頂し、無事下山出来て安堵した。無謀との批判もあるかと思うが、‘この諸条件の揃った機会を逃せば登頂は不可’と山頂まで進む判断をした事に後悔はない。40山最後に残った“難関”を苦戦しながらも踏破出来、皆に感謝したい。特に2回の下見に参加してくれ、当日も積極的にリードしてくれたKHさん・KKさん・HSさん、先頭で皆を引っ張ってくれたISさんに深謝。40山達成、

万歳！ そして先陣を切ってくれた山友会Pに感謝々々である。合同山行でなければ、登頂は無理だったかも。山友会Pの下山は19:40。山友会も50山達成である！

いろいろな意味で本当に遠い山であった。思い入れも特別深いことから長い報告となった。

< 記：NT 写真：KK >

<< 一口感想 >>

熊笹の藪漕ぎは想像以上にしんどかった。今時こんなに熊笹が残っているのも驚き!! 更に、夕方、みぞれ混じりの雨になり、真っ暗な中、懐中電灯でマークを探しながら500mH、よく全員事故もなく下れたものだ。ISさん、KHさんの頑張りもすごかったが。。

しかし、ブナ林は広大で素晴らしかった。僕としてはこれで帳消しかな? HT

頭まですっぽり覆う笹藪を必死かき分け到達した山頂は藪に囲まれた4畳半ほどの空間で三角点上部が地表から少し見えると言った状況でがっかり。しかし、この難関の山に登頂できた感動がそれを打ち消しました。N会長並びに同行の皆様ありがとうございました。

KK

滋賀県最難関ともいわれる上谷山に運よく初挑戦で何とか登頂できてうれしい思いです。HSさんの滋賀40山の企画が無ければ名前を知っているだけの遠い山のままでした。長時間の藪漕ぎをしたのは初めてで大変でしたが皆の思いが通じたということでしょう。これも昨年2回も下見していただいたからこそと感謝致します。有難うございました。

NY

一日の活動時間14時間強と強烈なやぶ漕ぎ、ヘッドライトでの激下り、いずれも初経験であり今後も更新されることのない自己記録になりました。無事登頂下山できたのも同行メンバー皆様のおかげです。ありがとうございました！40周年記念 滋賀40山達成おめでとうございます。

HS

2回の下見で解ったのは、「1日で登頂するのは無理！」という事でした。しかし、今回山友会の先発隊が道を開いて下さったお陰もあり、時間がかかったものの何とか達成できました!!

リーダー及び参加の皆さん、そして山友会の皆さんに、感謝感謝です!!!

KH

2013年3月に例会で実施した残雪の三国岳から、朝日に輝く上谷山をはじめとする峰々を見ました。その時のぶな原稿の一口感想に「アルプスまで行かなくても、こんな近くに、こんな素晴らしい山がある」と投稿しました。今回も登り始めてしばらくして、朝日が当たる光景を見た時に、やはり美しい山と思いました。また、コースは非常に厳しく、山岳会が挑戦するにふさわしい山です。その山に、滋賀40山の締めくくりとして登ることができ、満足感で一杯です。二度も下見をしていただいたN会長、HSさん、KHさん、KKさんには感謝で一杯です。ただ、もう一度登れと言われたら、今度は福井県側から3月に登りたいです。

IS

《例会報告》

金勝アルプス(鶏冠山～竜王山)

日時 2020年12月6日(日) 9時から15時30分 晴れ

参加者 1班 CL N野 SL N尾 K林 N田 I井 F川 Y本 K藤 S内 H浦
2班 SL K原 SL K嶋 S井 K保田 K井 S水 O村益 O村智 F野 S藤

行程 桐生一丈野駐車場(9:00)～落ヶ滝(9:30)～北峰縦走路分岐(9:50)～
鶏冠山(10:30)～天狗岩(11:40-12:40)～白石峰(13:15)～
竜王山(13:45)～林道狛坂線分岐(14:10)～狛坂摩崖仏(14:50)～
逆さ観音尊石仏(15:15)～桐生一丈の駐車場(15:30)解散

和邇河川敷駐車場から移動車と直行車は、桐生一丈野駐車場に集合し、1班と2班各々10名の班分けで金勝アルプス右回り周回ルート of 山行を開始(9:00)。

好天に恵まれて多くの山行者で賑わう山道を落ヶ滝へ登っていく。好天が続いている影響で落ヶ滝の水量は少なく残念(9:30)。

北峰縦走路分岐にて休憩後、やや急な登山道を鶏冠山目指して、多くの登山者と道を譲り合いながら登って行く。我々は総勢20名であり、1班と2班の間隔を取りながら登って行く(10:30)。

鶏冠山で休憩後、金勝アルプス名勝の天狗岩を目指す。天狗岩に到着し、岩登りと景観を楽しみ、昼食休憩を取る(11:40-12:40)。

昼食後、竜王山に向けて歩き、竜王山～林道狛坂線分岐を経由し、ややゴロゴロした岩場を下って行くと狛坂摩崖仏、逆さ観音尊石仏を見ながら桐生一丈野駐車場に戻った(15:30)。

適度なアップダウンと景観も楽しめる変化に富んだ楽しいコースでした。

(S内記)

【一口感想】

・12月とは思えない最高の天気、こんな日に山に行けるって幸せ!

人出も多く渋滞もありましたが、奇岩を堪能できました。 (H浦)

・お花の宝庫、懐かしい金勝山、小春日和の中、奇岩・大岩 軽い

Up-down を繰り返し摩崖仏を眺めて幸せなり～ (N田)

・滋賀の財産と言うべき湖南アルプスで遊ぶ ことが出来、大変幸せです。

雪稜会の20名の方と一緒に会することが出来、嬉しかったです。コロナに負けず一同に会して親睦を深め、遊びの精神を高めて行きたいです。

(S藤)



寄稿

登山靴さんありがとう!(^^)!

Yもと

自分にとって今年の登山関係での印象に残る出来事と言えば、なんといっても 27 年間履き慣れた 登山靴の破損事件かな・・・？

10月25日の登山祭典（大谷山）の当日、登山口から5分ほど歩いたところで足底に違和感を覚え、見てみると登山靴のゴム底が剥がれてパカパカと・・・何時もなら車運転の時はスニーカーを履いているのですがこの日に限って登山靴での運転でした(>_<ですので履き替えはなく登山を断念して泣く泣く帰宅しました。靴屋に持っていきましたが修理不能と言われました。



この靴は、北は北海道～南は鹿児島までの山々を文句も言わず付き合ってくれた最愛の登山仲間です。と言うより体の一部と言った方がいいかな？

多くの思い出を残してくれました。処分をするのも可愛そうなので、暫く靴箱に入れていましたが、戸を開けるたびに悲しそうな顔をするので焼却処分にしました。履きっぱなしにせずもっとメンテナンスをしていれば・・・と後悔しています。靴さんありがとうの言葉を送ります。

新しい靴さん来年からよろしくお願ひします。(^^)o(^^)

新入会の挨拶

K藤

12月から入会しました加藤です。宜しくお願いします。この歳になって入会も変ですが、この歳だからこそ入会させて頂きました。と言うのもまだまだ近場の低山に登りたいのですが、一人で登るのは不安です。家族にも心配を掛けることになるのでこの際、入会を決めました。体験で参加した大谷山登山で皆さん親切で、雰囲気も良かったので決意しました。色々ご迷惑をお掛けするかも知れませんが宜しくお願いします。

来期の編集作業について

機関誌『ぶな』発行にご協力をありがとうございます。今年もよろしくお祈いします。来期の作業体制を決める時期になりました。体制を決めるにあたり、コロナが終息に向かうまではメール配信とし、終息に向かえば再び皆で編集作業を行うことを前提とします。終息時期がわからないので、とりあえずは全員参加を基本に組ませていただき、去年の班別をもとに、昼班・夜班は昨年通りとしました。都合が悪い日程や時間がありましたら、予めお知らせください。

I井T雄

2021 年近況と抱負

近況

- N村高 2020 年の目標でもあった上谷山(滋賀 40 山)をやっと登頂出来、ほっとしている。同居の 3 才児と 1 才児に振り回されて毎日が大変。家出(?) したい心境。
- N村和 行きたい山は一杯有れど脚力が…。カタツムリのように歩けば小屋に辿り着かんし、さてどうしよう…。
- Y本 80 歳になって体力・気力が衰えてきていることを感じる今日この頃です。裏山(音羽山)に周 1~2 回登って脚力を鍛えています。
- Y口弥 今年、コロナと左手の骨折で、山にはあまり行けませんでした。最近、比良山、比叡山、マンダラ山などを歩いています。ポチポチやっています。
- Y口一 不安や事故夏から巣ごもり
- M藤 今年、1/21 日、フェリーで門司港に着いた時、中国・武漢で感染症が発生とスマホにニュースが！心配なので帰路は陸路で帰宅、やはり、大変な年になりました！雪稜会の活動には、コロナや体力の件も有り、参加出来ず！
- F野 最近ですが、今までとは違った形態で山によく行っています。つまりツアー登山で九州方面が多く、今は GO TO の割引もあり比較的安く行けています。
- H部美 踊るアホーに見るアホー、Go To キャンペーン踊らされています。でも楽しい～
- K保田 2020 年はコロナで運動不足な年でした。山行で皆についていくのが大変になるまで筋力が衰えてしまいました。
- A本 元来、呼吸器系に不安があるので完全自粛中です。外に出るのは畑仕事だけで、人との接触は極力避けています。孫との槍ヶ岳も延期しました。
- K藤 生活のみならず、山に登る事にも気を使う 1 年でした。それでも皆さんと一緒に、登り続けることができました。
- H島 巣ごもり生活の毎日です。早く感染収束して欲しい。

- I 東 2019年は血圧が高くなり、目の治療も受けました。さすがに今までお酒の飲み過ぎだったと深く反省し、休肝日を増やしました。その結果、2020年度健康診断では改善がみられ、肉体的には少し若返ったのではないか、いや、どうかな。
- I 村 昨年は新型コロナの影響で夏山も行きませんでした。毎年恒例のマラソンもなくなりました。まったく停止状態でした。仕事は行っていますが。
- N尾 アルプスへ登れず残念でしたが近郊の山は結構歩けました。
- T中利 腰痛が悪化して山に行けず、釣りに行っていますが、これからは海も寒いです。
- H部史 きのこを求めて「ブラリブラリ」どこへ隠れたのかな～
- K林 年明けに引いたおみくじが「大吉」（去年は「凶」）。いろんな時間がありましたが、年の瀬の今振り返ればやっぱり今年はそこそこ十分大吉だったと思うこの頃です。
- H池 のんびり気ままに、たまに山に行き、たまに仕事もする日々です。
- H野 コロナと仕事で、あまり山に行きませんでした。消化不良。
- F川 今年前半は誰も動かないので、一人近所の里山を歩いていましたが、秋になりコロナ禍の様子がだんだん解かってきたので、ほぼ毎週山行ができた。
- O村益 GO.TO で日赤通いをしています。別に大した事で無いのですが？
- O村智 7?歳の40肩で困ってます。
- K嶋 コロナ禍の中、毎年走っていたマラソン大会が全て無くなり、逆に今年は今までの年より山に入れた日が、良いのか悪いのか分からないけど増えました。夏前までの自粛期間以降は日帰り山行以外に八ヶ岳、中央アルプス、北アルプスと出かけて、ここ近年では一番沢山歩けたかなあ…良かった、良かった！
- T中啓 12月に入って、なんやかんやと忙しくも嬉しい毎日です。
- K原 最近、体重が増え体力は落ちた気がしている。昨年南アルプスを歩いたあの体力をもう一度取り戻したいと漠然と思いつつも今は何もしていない。
- N野 コロナ禍で大変な年に於いて、北・南アルプスには行きませんでした。近辺の山々の良さを改めて見直す良い機会になりました。
- H浦 毎日パワフルに活動しています。
- I 井 今年はコロナのために思うように外出できず、何となく寂しい一年でしたが、できうる限り例会には参加させてもらいました。その中でも個人山行ではありましたが、白馬岳に参加させて頂いたのが、良き思い出となりました。

- N田 山登り 22 回、街道等の歩き 7 回。コロナ〜で振り回され、悩み、考えた後 割と出掛けて居るのに自分でも驚いている。図書館の往復も 往は歩、復は電車と工夫した。おかげで 116 冊読めた(11 月中旬迄)目標 50 冊。
- M原 11 月の連休に立山でバックカントリースキーをしていて、雪に隠れていた岩に脚を取られ、大岩に激突しました。ヘリコプターと救急車で富山市民病院に運ばれました。大腿骨の付け根を粉碎骨折しており、手術を受けました。12 月半ばに滋賀県立総合病院に転院し、リハビリテーション中です。まだ自分で右股関節や右膝を曲げられません。股関節を曲げる筋肉が付着する骨が折れたままになっているため股関節を曲げられないし、大腿四頭筋が痛くて膝が曲がりません。右下肢に体重はかけることはまだ厳禁されています。寝返りもできないし、トイレも激痛です。診療所はずっと休診です。怪我して以来ずっとアルコールもカフェインも摂取していないので、内臓は綺麗になったかも。いつもは登山届を雪稜会に提出してから出発するのですが、今回に限り、直前が多忙で、届出する時間がありませんでした。滋賀を出発する時に「届出していない」と気付いたのですが、間に合いませんでした。
- T田 登山のやりかたも、生活様式も見直しながら過ごした一年でした。昨日今日と雪化粧した山々を見ると、緊張とともにワクワクする思いがします。
- S 藤 コロナのことで、マスクを 1 日中しているので喉が守られ、喉が弱く支障をきたすことが多かった私は喉からのトラブルが無くなりました。
- K井 今年は、独標・八ヶ岳・焼岳・奥穂高・北穂高・下の廊下等登ることができました。
- S水 今年はコロナ禍で大変な一年でしたが、安全に気をつけながら、奥穂高岳、北穂高岳などたくさんの山に登る事ができて嬉しかったです。
- N井 10 月 30 日から 2 泊 3 日 黒部峡谷〜下ノ廊下縦走 今年最大の思い出になりました。
- S内 コロナ渦により県内山行限定、12 月 7 日時点で山行活動 44 日。紫外線嫌い、虫嫌いな家人を連れ出す事、叶わず。
- I 井隆 11 月から従来より悪かった腎臓の数値が悪化し、きつい運動を控えるよう医者から警告され、軽い運動程度にして山登りは自重しており、すきなお酒もやめております。

S 井 秋には少し参加したいと思っていた山行ですが、母の介護と孫もりが大仕事となりリュックを買ったのにちっとも使えず状態です。唯一、水質検査に行かせてもらったのが今年の終わりです。また参加させていただけるのを楽しみに、乙女が池周辺を歩いています。

S 井 入会して丁度一年になります。一年前は世の中がこんなことになろうとは予想もしませんでした。

K 藤 コロナ禍の元、今年の四月から近場の長等山にほぼ毎朝登っています。さて何回登れるかな？

**** 抱負 ****

N 村 高 リアルマラソン大会が開催されることを願い、フル完走。夏山は北ア又は南アの縦走。40周年記念誌の発刊。

N 村 和 行ける山を探してボチボチと、今年も頑張ろっと!!

Y 本 来年は、最低月一で1~3,000メートル級を歩きたいです。

Y 口 弥 来年ももう少し歩き続けたいと思っています。宜しくお願いします。

Y 口 一 春には巢立ちたい、それまで山筋がんばります

M 藤 新年も、コロナに気を付け、自然の中の旅は続けたいと思っています!

F 野 今年の夏は、北海道に二週間程度滞在し山に登りたいと考えています。どなたか一緒に行ける人いませんか?

H 部 美 おだやかな山にゆっくりと登ります

K 保 田 2021年は筋力アップ目指します!

A 本 まだまだ油断できないと思っています。収束すれば、まず孫との約束を果たそうと思います。

K 藤 引き続き滋賀の山、30山と40山の抜けをカバーします!!

H 島 北アルプスで未踏峰の山に挑戦したい。

I 東 2021年は、休肝日の日数を維持し、2020年に中止した那須に拘らず、近場の奥多摩奥秩父、他の山域も検討し関東例会実施と、フルマラソンに一回出場したい。

I 村 今年早く新型コロナが終息し気軽に出かけてみたいです。

- N尾 春秋は滋賀 40 山の未踏の山や比良の未踏ルートへ、夏はやはりアルプスへ行きたいところです。
- T中 早く腰痛を治し、春には山行に参加したい。
- H部史 マイカーをダウンサイジング、山も少々ダウンサイジングしても頑張ります！
- K林 さして変わらない日常を送りつつ、記念誌発行に関してはコロナを理由に逃げてきた半年・・・来年度どんな形であってもなんとかしたい。
- H池 肩甲骨周りを柔軟にして、きれいな立ち姿を目指す。
- H野 コロナの収束を願います。
- F川 来年もコロナは落ち着くまでにはならないと思うが、注意しながら、残り少ない人生をせいぜい満喫したい
- O村益 頑張って、例会山行に参加します。
- O村智 目標は高いですが？ ゆっくりと登れる山に行きたいです。
- K嶋 今年、入山出来無かった南アルプスをテント担いで歩きたいのと、まだまだ歩けていない北アルプスのルートを歩きたい。
- T中啓 体力をつけて、絶景を求め山を楽しみたい。
- K原 コロナの先が見えないが、萎縮することなく一日一日を大切に残る人生を山で楽しみたい。
- N野 ジム通いとジョギングで基礎体力を維持しながら、コロナ感染予防を意識しつつ今までに登りたかった山にチャレンジしたいです。
- H浦 怖がらず渡渉出来るようになりたい。切実な願いです。
- I井 寄る年波で体力の低下を覚えています（もともとそんなに体力ありませんでしたが）。来年は 3000m 級の山は無理かなと思っています。しかし、近辺の山等、出来るだけ例会には参加したい。足手まといになるとは思いますが、よろしく願います。
- N田 H9・12 月～山登りを始めた！ 三上山がスタートだった。あれから 24 年目に入る。初心に帰り、慎重に、楽しく歩を進めたい！
- M原 今年中に退院して年明けから復職しようと虎視眈々と目論んでいますが無理かな。登山はもう無理かもしれません。
- T田 少しずつスキルも体力も身につけながら、四季折々の山に親しんでいきたいと感じています。

-
- S 藤 今年は、毎月登山をしたいです！
- K 井 来年は北岳・間ノ岳・農鳥の縦走、剣岳、表銀座、谷川岳を目標に頑張ります。
- S 水 来年はテントを担いで、北岳から農鳥岳までの縦走が出来るといいなあと思っています。来年こそいい年になりますように。
どうぞよろしくをお願いします。
- N 井 来年は？楽しみです。宜しくをお願いします。
- S 内 山行体力の強化、技術アップ、テン泊山行デビュー+様々な山行経験を積む。
- I 井隆 早く身体を治し、またみんなと山登りできるよう頑張っていきたいと思っています。
- S 井 山の本を読んだり地図の見方を知ったりするとともに体力をつけておく。
- S 井 周囲の状況を考慮しながらも 2021 年は 2020 年より多くの山行に参加したいと思います。よろしくをお願いします。



2021年1月予定表

1	祝 金	例会 初日の出山行（権現山）	19	火	
2	土		20	水	
3	日		21	木	
4	月		22	金	ぶな」原稿締切
5	火		23	土	例会 大文字山
6	水		24	日	
7	木		25	月	
8	金		26	火	第10回運営委員会
9	土		27	水	
10	日	例会 新春山行（武奈ヶ岳）	28	木	
11	祝 月		29	金	
12	火	第9回運営委員会	30	土	例会 八雲ヶ原（雪中テント泊）
13	水		31	日	例会 八雲ヶ原（雪中テント泊）
14	木		編集後記 早くみんなで編集作業をやりたいです。		
15	金				
16	土				
17	日				
18	月				
2月の予定					
14	日	打見山～森山岳(スノーシューハイク			
21	日	第42回比良雪稜会定期総会			
今月号と来月号の当番					



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>